

避難所等における感染評価（症候群サーベイランス）用紙

- 避難者は①避難所到着時②できれば毎日（あるいは定期的 2-3 日毎等）③病院移送時に評価
- スタッフは毎日、自己評価

記入日： 年 月 日 氏名： 体温： 度

A) あてはまるものの数字に○をつけてください。

- 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている
（解熱剤を飲み続けなければならないときを含む）
- 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
- 基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患等）がある
- 透析を受けている
- 免疫抑制剤や抗がん剤を用いている
- 上記3、4、5のいずれかに当てはまる方のうち、
 - 風邪の症状や37.5度以上の発熱が2日程度続いている
 - 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
- 新型コロナウイルス感染症陽性者との接触があった
→いつ頃（ 年 月 日 ） どこで（場所： ）

B) あてはまるものの数字に○をつけてください。

- 熱（38度以上）がある、または熱っぽい
- 上気道炎症状（咳、鼻汁、咽頭痛など）がある
- インフルエンザ様症状（全身がだるい、寒気、頭痛、関節痛・筋肉痛など）がある
- 咳があり、血がまざった痰がでる
- からだにぶつぶつ（発疹）が出ている
- からだにぶつぶつ（発疹）が出ていて、かゆみや痛みがある
- 唇や口の周りにぶつぶつ（発疹）が出ていて、痛みがある
- 首がかたい感じがしたり、痛かったりする
- 下痢便（水のような便、柔らかい便、形のない便、噴出すような便など）が出た
- 吐いた、または吐き気がする
- おなかが痛く、便に血がまざっている
- 目が赤く、目やにが出ている
- 傷などがあり、膿がでたり、赤かったり、腫れていたり、痛かったりする
- 小児である →何歳（何ヶ月）（ ）
- この3ヶ月間に入院したことがあり”多剤耐性菌（MRSA など）”があるといわれた
- 抗菌薬を飲んでいる（感染症の治療を受けている）→（病名： ）
- 被災後、予防注射を受けた→なに（ ）いつ（ 年 月 ）

感染評価に基づく感染対策

全員に「標準予防策」を行う。次の場合に「接触予防策」「飛沫予防策」「空気予防策」を追加。

※標準予防策等の具体的な方法は

「避難所における感染対策マニュアル」 2011年3月24日版

(平成22年度厚生労働科学研究費補助金「新型インフルエンザ等の院内感染制御に関する研究」研究班(主任研究者 切替照雄)作成)に記載。

A)の設問・・・

■1～6,7のうちの1つ以上【新型コロナウイルス感染症?】

→別室または隔離した専用スペースに案内

B)の設問・・・

■1のみ【インフルエンザやその他の感染症?】→とりあえず「飛沫予防策」を追加

■1,2,3の1つ以上【インフルエンザ等?】→「飛沫予防策」を追加

■1,2,3の1つ以上と14【小児呼吸器感染症?】→「接触予防策」と「飛沫予防策」を追加

■4【結核?】→「空気予防策」を追加し病院搬送を検討

■1と5【水痘や麻疹等?】→「空気予防策」を追加し病院搬送を検討

■1と5と8【細菌性髄膜炎等?】→「飛沫予防策」を追加し病院搬送を検討

■6のみ【带状疱疹や疥癬等?】→「接触予防策」を追加

■7のみ【単純ヘルペスウイルス感染症?】→「接触予防策」を追加

■9または21【ノロウイルス感染症やその他の消化器感染症?】→「接触予防策」を追加

■11【細菌性の急性下痢症?】→「接触予防策」を追加し病院搬送を検討

■12のみ【ウイルス性結膜炎?】→「接触予防策」を追加

■13のみ【創傷関連感染症?】→「接触予防策」を追加